

## 図書館協議会 令和7年度第3回定例会 会議録

【日時】 令和7(2025)年12月18日(木) 午後3時00分～4時25分

【場所】 中央図書館(3階)研修室1

出席委員 菊池信太郎議長、赤沼順子副議長、安齋健一、石田陽子  
鈴木祐介、新田聖子、藤田久実子、渡部由美子

欠席委員 サンジェイ・パリーク、鈴木英夫、杉本ゆか、中畠由子、  
芳賀チエ子、古河志津子、吉田果南

### 【事務局】

管理係長(井上 薫)、総合サービス係長(橋本 果)、  
希望ヶ丘図書館長(佐久間一徳)、安積図書館長(濱尾 繁)  
富久山図書館長(御代田朋克)  
管理係 今泉 総合サービス係 仲田

### 【会議の概略】(司会:管理係長)

#### 1 開会 会議の成立・進行

- 出席委員は8名、定足数を満たし有効に成立
- 議事次第・資料配布の確認

#### 2 館長・議長挨拶

- 館長:図書館貸出制度の拡充と利用状況
  - 10月から貸出冊数を5冊→10冊へ拡大
  - 10月の月間貸出が19～20%増加
  - 1人当たり貸出冊数が3.14→3.68冊(約0.5冊増)
  - 貸出者数(利用者数)は大きな増加なし
  - 絵本・雑誌等の回転が向上
- システム更新とLINEアプリ活用
  - 10月からシステム更新、携帯アプリ(LINE連携)導入
  - LINE会員が2,000人に到達(全登録者約3万人、2%未満)
  - 検索・利便性向上をPR予定

### 3 議事・・・議事進行(菊池議長)

#### (1)報告事項

##### (ア) 令和7年度事業報告(10～12月)

総合サービス係長及び各地域館長から資料に基づき説明ののち質疑応答。

- 総合サービス係長:中央図書館の行事・イベント報告
  - おはなし会、読書関連展示、映画会等を実施
  - 11/15「レクチャーコンサート」来場 171 名
  - 11/20「読み聞かせボランティア ステップアップ講座」参加 58 名
  - 11/30「リサイクルブックフェア」実施：譲渡冊数 9,277 冊、来場者 1,241 人（1 人 10 冊まで）
  - 結論：複数イベントで高い参加があり、蔵書循環にも寄与
- 希望ヶ丘図書館の報告(佐久間館長)
  - 定例おはなし会、大人の映画会（10月・12月）
  - 本の展示を実施（詳細は資料）
- 安積図書館の報告(濱尾館長)
  - 「昭和展」等のテーマ展示を実施、展示後の貸出要望が多い
  - 11/8 イベント 103 名参加
  - テーマ別展示（江戸関連、食品おすすめ、季節展示）合計 485 冊展示・貸出
  - 東山幸三郎関連展示を実施
  - 福島支援学校等の図書館見学受け入れ（案内・紹介・貸出体験）
  - おはなし会と子ども映画会の連動、午前開催が来館者増に効果
- 富久山図書館の報告(御代田館長)
  - 定例おはなし会、映画会（10月・～2月）
  - 本の展示を実施（詳細は資料）
  - 児童生徒の施設見学(3件)

##### (イ) その他 公共施設等総合管理計画と使用料の見直しについて

管理係長から説明。

- 市総合計画・第2期個別計画の進捗報告
- 中央図書館長期改修に向けた概算額・イメージスケジュールの検討
- パブリックコメント実施中（～1/5）、法令整備を経て最終案へ。

## (2)協議事項 第5次郡山市子ども読書活動推進計画について

総合サービス係長から資料に基づき説明

- 位置づけ：国・県計画に整合、市教育振興計画等と連携
- 現状と課題：
  - 月1冊も読まない子どもの割合が課題
  - 児童生徒・保護者とも家庭での読書頻度が減少、特に保護者の不読率が増加（2倍以上）
  - 電子読書は増加傾向
- 基本方針：
  - 不読率の低減
  - 多様な子どもの読書機会の確保
  - デジタル社会に対応した環境整備
- 推進基盤：図書館・地域・学校ごとに目標設定、第四次の取組継続＋社会変化対応
- 具体的取組（例）：
  - オンライン図書館の拡充、アクセシブルな電子書籍・機器提供
  - 企画展連携の関連図書展示（MLA連携）
  - 学校図書館との意見交換会の開催（新規）
  - 育児教室等での図書館員による啓発（継続）
  - 子ども司書養成講座で子どもの意見を反映
  - 産婦・乳幼児健診でおすすめ本リスト配布（図書館案内含む）
  - 学校図書委員会活動の拡充・参画促進
- スケジュール：1月 教育委員会へ計画提出／2月 パブリックコメント /3月 図書館協議会（第4回）で最終版提示

### 【議長の進行により、質疑応答】

- 新田委員：読解力に関する意見交換（青少年の主張コンクール）
  - 中学生の文章構成力や主張の流れの弱さを指摘。
  - 保護者のYouTube視聴許容などが読書減少に影響しているのではないか。
  - 作品作成過程（指導介入度合い）への懸念。議長：読解・表現力の課題認識を共有、計画での改善施策に期待している。
- 安齋委員：学校現場の読書状況と課題
  - 少年の主張コンクールと読書の相関関係は不明。
  - コンクール作品の誤字修正はあるが、教員の過度介入はない。
  - 11月に読書状況調査（1冊も読まない生徒の把握）

- 学年別傾向：1年生は学校図書館の貸出が多いが、2・3年生は減少。3年生は入試準備で「読んでいない」が約8割もいる。

議長：スマホ利用が1日の自由時間を占め、読書時間を圧迫しているのではないかな。

学年進行による読書離れが顕著。調査と現状把握の継続が必要。

- 石田委員：家庭・地域へのアウトリーチ

- 図書館が外へ出て啓発・意見収集の機会を設ける方針を評価。
- 乳幼児向け拠点での読み聞かせ・保護者働きかけが有効。
- イベントは午前（11時開始）が親子参加・子どもの集中に適している。小学校での読み聞かせ体験から、「読まない子」よりも「読めない子」が増加している。
- 低学年から差が生じ、3年生頃で分岐が顕著。読解・記述の困難が増加。
- コロナ期以降、IT・金融教育などで読み聞かせが後回しになりがち。

議長：読解・記述力の底上げが不可欠。

- 渡部委員：学校での読書推進と家庭環境

- 学校で「読書の時間」設定、夏休みに「読書カレンダー」導入。
- 家庭環境差が読書量に直結。兄弟間の傾向一致例あり。

：安齋委員：ビブリオバトルは読書好き向け、非読書層には敷居が高い。

議長：学校施策は一定効果、家庭支援なしでは格差是正が難しい。低ハードル施策の併用が必要。

：安齋委員：低ハードル導入手法「クラブフレーズ」

- 読書のハードルを下げるため、図書館からランダムに本を持ち出し、本から1行選び匿名提示→関心投票→紹介→読みたくなる本を問う手法
- 次年度の中学校図書館部会イベントで導入検討（南相馬市事例視察済）
- 学校図書館・公共図書館の連携で実施可能。非読書層への導入手法として有望、次年度試行へ準備している。

- 藤田委員：大学志願理由書とAI利用

- 高校生のAI依存が増加、大学側も見抜く力を強化している。
- 最終的には自分で書き話す力が必要。幼少期から紙の本への接触が重要。

議長：長期的な言語能力育成のため早期介入が必要。

仲田司書：3歳児検診での絵本リスト配布している。

- 市内の3歳児検診で約60冊の絵本リスト（表紙・紹介文）を許諾の上で配布、数年ごとに更新している。会場は混雑し周知が難しいため配布重視、幼児教室等で補足説明を検討中。

議長：幼児期への働きかけを継続、落ち着いた場での補足説明機会の拡充が望ましい。

- 鈴木(祐)委員:新聞の不読率も上がっている。一方、電子版の利用は伸びており、SNS の情報収集や、電子書籍読者の増加を踏まえ、オンライン充実が重要ではないか。
- 総合サービス係長:電子書籍サービスの現状と課題
  - 電子蔵書は常時約 5,000 冊。紙より単価が高く、2 年程度で閲覧権が切れる契約があり費用負担が大きい。
  - 幼児向けジャンルが薄め。小・中・高校生にはパスワード配布で利用カード不要の閲読を推進、利用は増加傾向。
  - 学校配布タブレットで利用可能。不足分は要連絡で対応可。  
議長：利便性は高いが予算・契約・ジャンル偏在が課題。計画的拡充と年齢バランス調整が必要。
- 赤沼副議長:本を好きになるきっかけ
  - 国語教師や図書館での「褒められる体験」が読書習慣の動機付けに寄与している。
  - 子どもが本を読むと大人に認められる経験が継続的読書につながる。
- 菊池議長による総括
  - 本の普及・読み聞かせの課題
    - 図書室へ自発的に足を運ぶ導線が不足。
    - 乳幼児健診（生後 4 ヶ月など）で本配布し読み聞かせ促進の事例。
    - 親世代に読み聞かせの方法が伝わっていない現状。
    - 人が集まる場での読み聞かせ実演の重要性。
    - 学校・幼稚園・保育所・公民館等との連携による土台づくりが必要。
  - 予算の使途アイデア（読書クーポン等）
    - 入学時の図書クーポン配布、校内選書会の実施などのインセンティブ案。
    - 夏休み前に体育館に本を並べ申込制で購入した事例あり。
    - 動機付けのための経済的支援・選書体験は有効可能性。制度設計が課題。

→結論：導線設計と保護者支援、他機関連携の強化が重要。

#### 4 その他 MLA 連携の取り組み・イベント報告

##### 館長から説明

- MLA（ミュージアム・ライブラリー・アーカイブ）連携の趣旨説明：文化のアップデート、市民の学びのリード
- 連携のビジョンに基づき施設長と協議、具体イベントを企画・実施。

- 11/15 ブックナイトマーケット（公会堂前広場）：市主催、古本交換と交流。飲食含む 16 店舗出店、来場約 150 名。図書館職員や委員も参加、満足度高。
- 来年度に向け食文化等の MLA コラボ企画を検討。広場での知識深化、市民の生き方に資する企画を立案する。
- 近隣図書館訪問記録：磐梯町中央公民館併設図書館を紹介（子ども向け工夫、県立図書館からの借受け等）

議長：：MLA 連携を軸に文化・学びの場づくりを進展、イベントは良好な手応え。

## 5 閉会

管理係長：次回開催予定は令和 8 年 3 月を予定。